

帆船日本丸ワークシートI 「日本丸ってどんな船？」

事前学習編

月	日	年	組
な ま え			

帆船日本丸のウェブサイトを見て、日本丸がどのような船なのかを事前学習しましょう。

① 日本丸はどのような船として、いつ建造されましたか？

(1930)年(昭和5年)に建造された(練習帆船)です。

【解説】

帆船は、大きな帆で風を受けて進みます。海の上で帆を広げたり、たたんだりするのは、機械の力ではなく実習生みんなの力です。船の進む方向をかえたい時は帆げた(帆がついている横にわたる長い円材、ヤードともいう)をみんなで動かして向きを変えます。こうした作業は、みんなで心をひとつにしてやらなければできません。帆船での航海訓練は、船の動かし方の勉強もしますが、海や風といった自然を体で知り、みんなで協力してひとつのことをやりとげることを学ぶのです。

② 日本丸は現役を退くまで、何年間、どのくらいの距離を航海し、約何人の実習生を育てましたか？

(54) 年間、地球を(45.5) 周する距離、延べ(183万)kmを航海し、約(11,500) 人の実習生を育てました。

③ 練習船としての使命を終えた日本丸は、横浜市みなとみらい21地区の石づくりの第一号ドックに係留され、1985年(昭和60年)4月から公開されていますが、公開後どんなことを行っていますか？2つあげてみましょう。

【解説】

展帆作業は、訓練を終えて登録されているボランティアの方のうち、毎回80名ほどの協力で行っています。すべて手作業で行われます。

- ・すべての帆をひろげる(総帆展帆)
- ・船の生活を体験する(海洋教室)

④ 日本丸は2019年に国指定重要文化財(美術工芸品)に指定されました。重要文化財とは何でしょう。インターネットや辞書を使い調べてみましょう。

重要文化財は、日本に所在する建造物、美術工芸品、考古資料、歴史資料等の有形文化財のうち、歴史上・芸術上の価値の高いもの、または学術的に価値の高いものとして文化財保護法に基づき日本国政府(文部科学大臣)が指定した文化財を指します。重文と略称されることが多いです。